



# 札幌市まちづくり戦略ビジョン

## <戦略編> (案) に対する

### 意見のまとめと札幌市役所の考え方

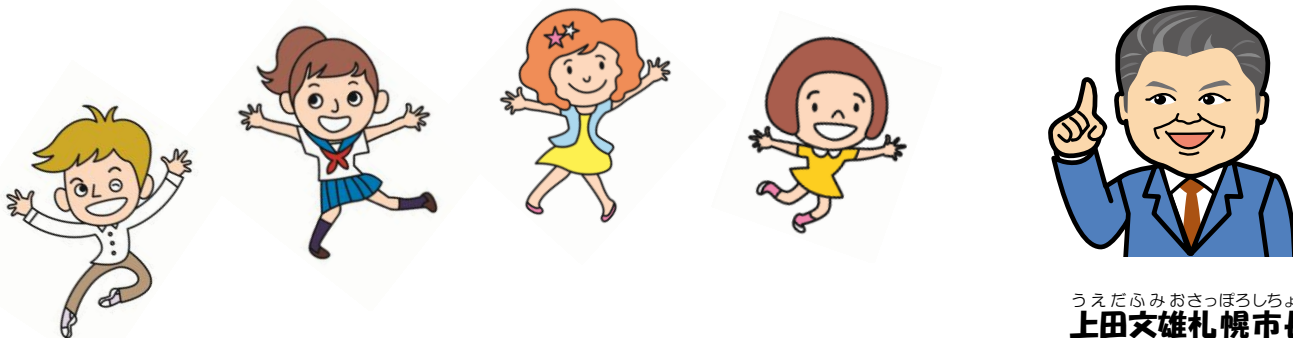
(小学生・中学生のみなさんへ)

市役所では、これからの10年間、市民や企業、市役所が力を合わせて取り組む札幌市のまちづくりの目標や取組の内容をまとめた「札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>」の案をつくり、市民のみなさんから意見を募集しました。

このパンフレットは、609人の小学生・中学生のみなさんから寄せられた意見の主な内容と、それに対する市役所の考え方をまとめたものです。

市役所では、みなさんの意見の中から特に多かった5項目の意見について、どれも大事な意見であると考え、戦略ビジョン<戦略編>に反映させました。

これからも、札幌市の未来について、一緒に考えていきましょう。



うえだふみおさっぽろしちょう 上田文雄札幌市長

平成25年(2013年)10月

札幌市市長政策室



さっぽろ市 02-A02-13-1441 25-2-246

# 寄せられた主な意見と市役所の考え方、戦略ビジョンへの反映

## 1 戦略ビジョンの案へ反映した意見

### ①【暮らし・コミュニティ】防災について

#### みなさんの意見

- 学校で防災を学んだら良いと思う。
- 学校への備蓄や防災教育など、災害に強いまちづくりに取り組んでほしい。
- 地震などに備えるのはやはり大切で、生活する上でも安心だと思う。



#### 市役所の考え方

市民・企業・行政が協力して地域の防災体制づくりを進めるため、避難場所となる小中学校に毛布や寝袋、ストーブなど必要な物を備えるとともに、避難場所をどのように運営するかについての研修などを充実させます。  
また、災害時に自分で考えて行動ができる子どもを育てていきます。



#### ～戦略ビジョンへ反映したこと～

子どもの成長に応じた、災害活動の支援に関する教育を充実させていきます。

### ②【暮らし・コミュニティ】子どもや若者が育つ環境について

#### みなさんの意見

- 地域のイベントなどは学校や児童会館の運営委員などで行っても良いと思う。
- ごみ拾いのボランティアをやりたい。
- 町内の人と公園のごみ拾いなどをしたい。
- ごみなどを一つもなくして、きれいなまちにしたい。



#### 市役所の考え方

将来のまちづくりを担っていく子どもたちが、身近な地域でのまちづくり活動にさまざまな形で関わる機会を増やしていきます。



#### ～戦略ビジョンへ反映したこと～

児童会館の活用を進め、子どもが自分からまちづくり活動に関わっていける機会を増やしていきます。

### ③【産業・活力】観光の魅力向上について

#### みなさんの意見

- 道外や海外の皆さまに、「おもしろい」「楽しかった」と言ってもらえるイベントや会社をつくっていききたい。
- 観光資源が豊富なので、道外からの観光客を増やしたら良いと思う。特に、雪は珍しいので、冬の観光の魅力を広めるべき。
- 札幌独自のものを強調したり、魅力を積極的に世界に伝えたりすれば、海外からの観光客を増やせると思う。旅行に行くなら札幌が良いと思われるようなまちにすると良いと思う。



#### 市役所の考え方

自然、雪、食、文化芸術、スポーツなど、札幌・北海道ならではの魅力を見つめたり、作り出したりして、これらを高めながら、市民にも来てくれた人にも魅力的だと感じてもらえる、観光都市にふさわしい札幌のまちづくりを進めています。また、対象となる国や地域に合わせた効果的なPRや、来てくれる人を受け入れる環境の充実を行うことで、多くの観光客に来てもらい、札幌の発展につなげていきます。



#### ～戦略ビジョンへ反映したこと～

子どもを含むさまざまな世代の視点を生かしながら、あらゆる世代が楽しめる札幌・北海道らしい観光の魅力を見つけたり、作り出したりして、活用していきます。

### ④【低炭素社会・エネルギー転換】自然やみどり豊かなまちづくりについて

#### みなさんの意見

- 外で思いっきり遊べる公園があった方がよい。
- 子どもがゲームや漫画に夢中になっているので、外で遊んだり散歩をしたりできる場所があった方がよい。
- 子どもやお年寄りも楽しめる公園を増やしてほしい。
- みんなの意見を聞きながら公園をつくることには賛成。



#### 市役所の考え方

地域の子どもやお年寄りなど、市民の意見も聞きながら、札幌の中心部周辺などに新しく公園を整備したり、地域の状況や市民の希望に応じて公園を新しくしたりしていきます。



#### ～戦略ビジョンへ反映したこと～

子どもが自分で考えながら遊べる場をつくっていきます。

## ⑤【低炭素社会・エネルギー転換】環境にやさしい暮らしについて

### みなさんの意見

- 節電などのエコ活動は誰でもできることなので、積極的に呼びかけてエネルギー消費量が少ないまちにしたい。
- エアコンを使うのではなく、窓を開けたり薄着をするなど自分でできるエコ活動を実践したい。
- 学校や円山動物園、青少年科学館など身近なところで環境について勉強するのはとても良いことだと思う。動物に関しても学べるし、環境のこともたくさん知ることができる。



### 市役所の考え方

札幌市のエネルギー消費量を減らしていくためには、市民一人一人の節電が重要です。そのため、市民の節電への取組を進めることや、公共施設でも積極的に太陽光発電やLED照明の導入などの省エネ・創エネに取り組むことで、市民へエコ活動の大事さを呼びかけていきます。

また、幼稚園や学校では、節電などの日常的な取組や、省エネや自然環境をテーマとした学習など環境に関する取組を一層充実させていきます。



### ～戦略ビジョンへ反映したこと～

学校や青少年科学館などでの体験型教育など、子どもの頃から様々な環境教育を受けられるようにしていきます。



## 2 その他の主な意見

### ⑥ 戦略編全体について

#### みなさんの意見

○これから人口が減っていくので、札幌市も新しい考え方で、効率的にまちづくりを進めるべき。この10年間にきっかけとして、まちづくりの方向性を変えていくべき。

○3つのテーマはどれも素晴らしく、協力していきたいと思う。このビジョンをたくさんの人に広めていければ良いと思う。

○みんなの意見を聞いてつくった戦略はきっと良いものになるし、何十年経っても札幌は良いまちであってほしいので、戦略は10年だけではなく、ずっと続けば良いと思う。



#### 市役所の考え方

今後、人口が減っていくことや福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、札幌を取り巻く状況は大きく変わっていく見込みです。

そこで、これまでの物の見方や考え方を変えて、10年後の目指すべき札幌の姿と、これからどういうことに取り組んでいくのかを示し、これらをしっかりと進めていくことで、未来の子どもたちに札幌の魅力を引き継いでいきます。

また、今後、このビジョンの内容をたくさんの方の市民により深く理解してもらおうとともに、この先10年を超えた未来も、魅力ある札幌のまちづくりを進めていきます。



### ⑦ 【暮らし・コミュニティ】地域での支え合いについて

#### みなさんの意見

○おじいさん、おばあさんを市民が助け、安全に暮らせるようにすると良いと思う。

○孤立をしないようにするには、必ず誰かがその家に訪問すると良いと思う。

○お年寄りが増える中、生活しやすいよう施設の段差などを無くすこと（バリアフリー化）や介護施設を増やすことを進めると良いと思う。



#### 市役所の考え方

一人暮らしのお年寄りが増えていく中、市民同士の支え合いや助け合いが重要になります。このため、身近な地域での見守り活動を充実させたり、区役所などが相談や支援をさらに強化したりしていくことで、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、お年寄りや障がいのある方が希望するサービスを提供できるような体制をつくっていきます。



## ⑧【暮らし・コミュニティ】地域での交流やふれあいについて

### みなさんの意見

- お年寄りと子どもがたくさん交流できる場所をつくり、昔遊びや昔の文化を伝えてほしい。
- 児童会館を利用していると、会館の行事などで違う学校の児童や地域の人と交流できて良いと感じる。
- 交流し、ふれあえる場として、市全体で行うお祭りなどを増やしてほしい。



### 市役所の考え方

子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方もお互いを尊重しながら一緒に暮らせる地域づくりが重要です。このため、児童会館を活用したさまざまな世代同士の交流を進めたり、学校や福祉施設などさまざまな交流の場をつくったりします。



## ⑨【暮らし・コミュニティ】雪と共存した暮らしについて

### みなさんの意見

- 冬、学校に行くときに歩道に雪がたくさん積もっていて、いつも車道を歩いているので、通学路だけでもしっかりと除排雪をしてほしい。
- お年寄りの家を、若くて元気な人が雪かきをしてあげると良いと思う。



### 市役所の考え方

雪と共存した冬の安心な暮らしを実現するため、雪への対策を進めていく必要があります。このため、地域のお年寄りなどの家を若い人が除雪する取組の応援や、子どもの安全を確保するための通学路の除排雪の強化などを行います。



## ⑩【産業・活力】札幌ならではの魅力の発信について

### みなさんの意見

- 札幌ならではの魅力を伝えれば、もっとたくさんの方が集まってくれと思う。
- みんなが幸せになる笑顔のまちになってほしい。
- スキーをする人が減っているので、スキーの魅力を通じて、札幌の魅力を広めたい。



### 市役所の考え方

文化・芸術、豊かな食など、札幌ならではの暮らしの魅力を市民が感じ、その魅力を高めて世界に伝える取組を進めていきます。

また、冬季スポーツ大会など、札幌らしい国際的なイベントの開催などを通じ、多くの人に集ってもらうことで、札幌の魅力を伝える人をさらに増やしていきます。



⑪【産業・活力】創造性豊かな人材の育成について

みなさんの意見

- もっと身近に札幌の歴史を感じられる場所があると良い。
- 小中学生が語学をもっと学ぶ機会を増やせば良いと思う。
- 自然体験のようなもっといろいろな体験ができるものをつくると良いと思う。



市役所の考え方

子どもたちが、札幌の自然、歴史、文化芸術に親しむ機会や、科学のこゝと、海外のこゝとを理解する教育など、さまざまな教育内容を充実させることで、札幌・北海道の将来を担う創造性豊かな人材を育てていきます。

また、小学校、中学校などで、子どもが英語などに親しみ、コミュニケーション能力を育てる学習を充実させていきます。



⑫【低炭素社会・エネルギー転換】公共交通を中心としたまちについて

みなさんの意見

- お年寄りに優しいまちにするために、地下鉄などの施設は階段だけではなく、エレベーターを付けてほしい。また、バスや電車も段差を無くして使いやすく（バリアフリー化）すれば良い。
- バスの本数が少ないところや、夕方までしか走っていないようなところは、本数を増やしてほしい。
- 環境のために、自転車を使いやすくしてほしい。そのために、自転車のルールを広めて事故を減らすことや、自転車の専用通路・駐輪場の整備を進めてほしい。



市役所の考え方

公共交通を中心としたまちづくりを進めるために、地下鉄駅の周りの建物が駅にエレベーターなどをつなげることや、お年寄りなども乗りやすいノンステップバスの導入を支援することなどによって、公共交通を使いやすく便利にしています。

また、駐輪場の整備などを進めるとともに、自転車を安全に乗ってもらうためのルールやマナーを市民に知ってもらうようにしていきます。



⑬【<sup>ていたん そしやかい</sup>低炭素社会・<sup>てんかん こうりつてき</sup>エネルギー転換】<sup>かつよう</sup>効率的なエネルギーの活用について

**みなさんの意見**

- <sup>ふくしま げんぱつじこ</sup>福島原発事故から<sup>まな</sup>学び、<sup>げんしりょくはつでん</sup>原子力発電に<sup>たよ</sup>頼らないためにも、<sup>しみんひとりひとり</sup>市民一人一人が<sup>せつきよく</sup>積極的に<sup>てきせつでん</sup>節電に取り組むことが<sup>だいじ</sup>大事だと思ふ。また、<sup>さいせいかのう</sup>再生可能エネルギーなど<sup>あんぜん</sup>安全な<sup>はつでん</sup>発電を利用することで、<sup>さっぽろ</sup>札幌は<sup>あんぜん</sup>安全に住むことができる<sup>まち</sup>まちになると思ふ。
- <sup>たいようこう</sup>太陽光や<sup>ふうりよく</sup>風力、<sup>ゆきれいねつ</sup>雪冷熱など使って、<sup>じぶん</sup>自分たちで<sup>エネルギー</sup>エネルギーをつくれるようにすれば<sup>よい</sup>良いと思ふ。
- <sup>さむ</sup>寒さに<sup>つよ</sup>強い<sup>じゅうたく</sup>住宅や<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素の<sup>はいしゅつ</sup>排出の<sup>すく</sup>少ない<sup>じどうしゃ</sup>自動車を<sup>ふ</sup>増やすと<sup>よい</sup>良いと思ふ。



**市役所の考え方**

<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素の<sup>はいしゅつりょう</sup>排出量が<sup>すく</sup>少なく、<sup>げんしりょくはつでん</sup>原子力発電に<sup>たよ</sup>頼らない<sup>しやかい</sup>社会の<sup>じつげん</sup>実現を<sup>めざ</sup>目指して、<sup>みんな</sup>みんなが<sup>たいようこうはつでん</sup>太陽光発電を使うことや<sup>せつでん</sup>節電などの<sup>しやう</sup>省エネに取り組むことを<sup>すす</sup>進めていきます。

また、<sup>さむ</sup>寒さに<sup>つよ</sup>強い<sup>じゅうたく</sup>住宅を<sup>た</sup>建てることや、<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素の<sup>はいしゅつ</sup>排出が<sup>すく</sup>少ない<sup>じどうしゃ</sup>自動車の<sup>こう</sup>購入を<sup>しえん</sup>支援していくことで、<sup>エネルギー</sup>エネルギー消費量を<sup>へ</sup>減らした<sup>せいかつ</sup>生活を<sup>ささ</sup>支えています。



⑭<sup>さっぽろ</sup>札幌の<sup>つく</sup>まちの造りについて

**みなさんの意見**

- <sup>ろめんでんしゃ</sup>路面電車や<sup>ちかてつ</sup>地下鉄、<sup>りよう</sup>バスを利用して<sup>じかようしゃ</sup>自家用車から<sup>だ</sup>出される<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素を<sup>へ</sup>減らすことは<sup>よい</sup>良いと思ふので、<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通を<sup>みんな</sup>みんなが<sup>りよう</sup>もっと利用するようにしてほしい。
- <sup>じどうしゃ</sup>自動車を<sup>つか</sup>使わない<sup>まち</sup>まちづくりは<sup>よい</sup>とても良いと思ふ。
- <sup>ちかてつ</sup>地下鉄を<sup>きよた</sup>清田区や<sup>みなみ</sup>南区など、<sup>さっぽろ</sup>札幌市<sup>ぜん</sup>全域に<sup>ひろ</sup>広げてほしい。



**市役所の考え方**

<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通を中心とした<sup>まち</sup>まちづくりを<sup>すす</sup>進めるために、<sup>ろめんでんしゃ</sup>路面電車の<sup>ろせん</sup>路線をつなげることや、<sup>としよ</sup>お年寄りなども<sup>の</sup>乗りやすい<sup>ノンステップ</sup>ノンステップバスの<sup>しん</sup>導入を<sup>しえん</sup>支援することなどによって、<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通を使いやすく<sup>べんり</sup>便利にしていきます。

また、<sup>こ</sup>子どもの<sup>ころ</sup>頃から<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通の<sup>べんり</sup>便利さや<sup>だいせつ</sup>大切さを<sup>し</sup>知ってもらうために、<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通を活用した<sup>イベント</sup>イベントなどを<sup>おこな</sup>行っています。

なお、<sup>ちかてつ</sup>地下鉄を<sup>の</sup>伸ばすことは、<sup>じんこうげんしょう</sup>これから<sup>こうれいか</sup>人口減少や<sup>すす</sup>高齢化が<sup>こうし</sup>進むこと、<sup>工事</sup>工事に<sup>た</sup>たくさんのお金がかかることなどから<sup>はん</sup>判断すると、<sup>むづか</sup>難しい<sup>じょうきよう</sup>状況にあるので、<sup>バス</sup>バスの<sup>かいしゃ</sup>会社とも<sup>きょうりよく</sup>協力して、<sup>こうきょうこうつう</sup>公共交通を<sup>べんり</sup>便利なものにしていきます。





## ⑮市役所がまちづくりを進める上でのポイントについて

### みなさんの意見

#### ■市民が主役のまちづくりについて

- 市民が主役のまちづくりを進めるのは良いと思う。自分が主役という意識があると頑張ろうと思えるし、嫌だと思えば気持ちが減ると思う。
- 札幌のまちをより良くするためのこのような取組を知らない人もいますので、もっといろいろな人に知ってもらえると良いと思う。
- 子どもや市民の意見がよく聞かれるまちが良い。

#### ■市役所が行う行政サービスのありかたについて

- すごく良い内容だけど、まずはそれを実現できるのかということと、その費用はどうするのかということを知りたい。全部を一度にはできないから、一番簡単なところからやれば良いと思う。

#### ■市民や企業などとの協力や、北海道や道内市町村との協力について

- まちづくりを進める上で、市民や企業との協力を深めるともっと良くなると思う。
- 北海道や道内市町村との協力は良いことだと思う。



### 市役所の考え方

#### ■市民が主役のまちづくりについて

これからの社会の変化に合わせた新しい視点で市役所を運営していくために、市民にまちづくりの情報を分かりやすく伝え、みんなで考える場をつくっていくことで、「自分たちのまちは自分たちがつくる」という市民が主役のまちづくりを深めていきます。

#### ■市役所が行う行政サービスのありかたについて

戦略編では、目標となる数字や目標達成までの手順を決めて、しっかりと取り組んでいきます。

今後は、具体的に何をやっていくのか、市役所のお金をどう節約していくのかを決めていきます。その時には、税金などの収入の確保と、仕事の見直しなどによる支出の見直しの両方を進め、安定した市役所の運営を行います。

#### ■市民や企業などとの協力や、北海道や道内市町村との協力について

さまざまな社会の課題を解決するためには、みんなが一緒になって取り組むことが効果的であり、今後も、市民や企業などと今まで以上に協力していきます。さらに、「北海道が発展しないと札幌も発展しない」という考えのもとに、北海道や道内市町村ともお互いに協力していきます。



## 資料の配布・公開について

このパンフレットのほかに、戦略編の詳しい内容が書かれた冊子や、寄せられたすべての意見をまとめた資料を、市役所、区役所、まちづくりセンターなどで配布しています。また、市役所のホームページでも公開しています。

### 札幌市まちづくり戦略ビジョンのページ

戦略ビジョンづくりのさまざまな取組を紹介しています。

子どもたちが参加した、札幌の未来を考えるイベントや取組の結果も紹介しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>

札幌市 戦略ビジョン

検索

### 大人の皆さまへ



平成25年7月から8月にかけて、「札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉」(案)に対する意見募集を実施しました。この資料において、寄せられた意見のうち、子どもの主な意見の概要と、それに対する札幌市の考え方、戦略編への反映点についてご報告します。ぜひ、お子様と一緒にお読みください。

なお、今回の意見募集では、子どもの意見とともに、子どもの意見に対する保護者の皆さまからの感想なども併せて募集しましたところ、「子どもがまちの未来を考えるいい機会になった」、「まちの将来について家族で話し合うことができた」など、親子で札幌の未来を考える良い機会になったとの感想を多くいただきました。ご協力いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。



### 【お問い合わせ先】

札幌市 市長政策室 政策企画部 企画課

札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎10階

電話：011-211-2192 FAX：011-218-5109

Eメール：[ki.kikaku@city.sapporo.jp](mailto:ki.kikaku@city.sapporo.jp)

